

当院で弓部大動脈置換術を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめたものです。この研究のために、新たな検査等は行いません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】 2019年8月～2024年7月の間に、弓部大動脈置換術を受けた方

【研究課題名】 人工心肺離脱前の新鮮凍結血漿投与が人工心肺離脱後の血漿製剤投与量に及ぼす影響：後ろ向き観察研究

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 手術部 部長 前田琢磨

【研究の目的・意義】

この研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、人工心肺離脱前の新鮮凍結血漿投与が人工心肺離脱後の血漿製剤投与量に及ぼす影響を明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、将来的に血液製剤の総使用量削減に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】

年齢、年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服薬、心電図、CT 画像、心臓超音波検査、手術内容（術式、所要時間、出血量、人工心肺充填量、体温）、麻酔記録（所要時間、薬剤、輸血）、術後 ICU 入室時刻、術後血液製剤（種類、使用量、実施時刻）、術後出血量、術後再手術の有無と実施時刻、人工呼吸時間、血液検査（全血球検査（WBC、Hb、Plt）、凝固検査（PT-INR、APTT、Fbg、D-dimer、FDP、AT-III）、肝機能検査（AST, ALT、γ-GTP、T-Bil、D-Bil、TP、Alb）、腎機能検査（BUN、Cr、eGFR、Ccr）、生化学検査（Na、K、Cl、Ca、P、Mg、Glu、HbA1c））

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】研究許可日より 2027 年 3 月 31 日まで（予定）
情報の利用を開始する予定日：2026 年 1 月 9 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター 公式サイト (<https://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、当機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはできません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 手術部 部長 前田琢磨
電話：06-6170-1070